



サッポロクジラの生態復元図。新村龍也学芸員（足寄動物化石博物館）作  
Taken from Tanaka et al (2025) A new member of a large and archaic balaenid from the late Miocene of Sapporo, Hokkaido, Japan partly fills a gap of right whale evolution. Palaeontologia Electronica.

# サッポロクジラ、デビュー 新種が生まれるまで

2025

10/18 土

13:30 ~ 15:00

北海道大学総合博物館 1 階  
「知の交流」

講師

田中 嘉寛

札幌市博物館活動センター 学芸員  
北海道大学総合博物館 資料部 研究員

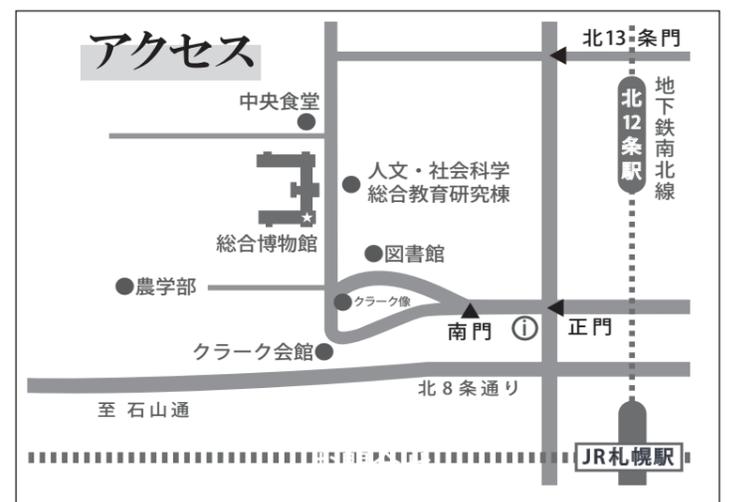
2008 年、ある市民の方が札幌市南区を流れる豊平川の河原を散歩していると、小金湯のあたりで奇妙な形の岩に気がつきました。そして 2025 年 8 月に新属新種 *Megabalaena sapporoensis* (サッポロクジラ) と命名されました。この間にどのようなことがあったのか博物館の活動を中心にをご紹介します。また、どのようなクジラであったのか？古生物学の研究についてもご紹介します。博物館やクジラ化石について興味のある方や、北海道大学総合博物館で 2026 年 1 月 25 日まで開催中の企画展「クジラの化石展」の目玉展示についての最新情報を詳しく知りたい方にオススメです。



入場無料 / 定員 70 名 (満席時は立ち見 10 名)

会場

北海道大学総合博物館 1 階  
「知の交流」



主催・お問合せ

北海道大学総合博物館

TEL : 011-706-2658

HP : <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

